



笠松町内の保育所・保育園・幼稚園で
道徳（あいさつ）のお話し会を行いました

11月から12月にかけて、松枝保育所、笠松双葉幼稚園、下羽栗保育所、笠松保育園、笠松幼稚園に向き、年長児を対象に、「あいさつ絵本」を用いた道徳（あいさつ）のお話し会を行いました。

これは、「道徳のまち笠松推進会議」が作成した「あいさつ絵本」を有効に活用して、笠松町の子どもたちに早い時期から挨拶（道徳）について考えてもらうことをねらい、5年前から実施しています。

会の始めには、挨拶にはどんなものがあるのか、どんな気持ちで挨拶しているかを尋ね、自分の日頃の挨拶について振り返りました。

次に、「あいさつ絵本」を拡大してスクリーンに投影し、読み聞かせを行いました。どの子も画面や話し手を見て話しを聞き、登場人物の思いや考えをしっかりとらえ、心や気持ちのこもった挨拶が人をつなぐことを学びました。そして、自分のお気に入りのページや印象に残ったページの色塗りをし、絵本を完成させました。

会の最後には、どの会場でも気持ちのこもったお礼の挨拶をうけ、とてもうれしくなりました。

さて、「道徳（あいさつ）のお話し会」（以前は道徳授業とっていました）が始まって6年目を迎え、最初に「あいさつ絵本」のお話しを聞いた子どもたちは小学校5年生になっています。笠松町に挨拶の土壌が広がっていていると思っています。

【各会場のようす】



あいさつ絵本（表紙）

会を実施して・・・子どもたちは一生懸命に話を聞き、色をぬり、挨拶の大切さを感じてくれているようでした。この子たちが大人になったときの笠松町を想像するとワクワクしてきます。挨拶のしやすい環境を大人がしっかり創っていくことが大事だと思います。

発行：「道徳のまち笠松」事務局（笠松町教育文化課）

連絡・問合せ・情報提供は・・・笠松町中央公民館（TEL388-3231）まで

